

Martin RGB Laser 1.6 W



「Martin RGB Laser 1.6 W」(クラス 4)は、高出力半導体レーザー、高速スキャナー、高精度アンプを搭載しながらもコンパクトに設計されたレーザープロジェクターです。

更に特徴的なのは色彩濃度です。特に青<442nm>は、他製品に類を見ない濃さを実現し、RGB カラーミックスにおいては白色をつくることが可能です。

RGBL 1.6 は価格もサイズも大きい水冷式システムを搭載せず、電源を入れただけで容易に操作ができるよう簡素化されています。現在市場にある他のレーザーに代わる魅力的な製品と言えるでしょう。

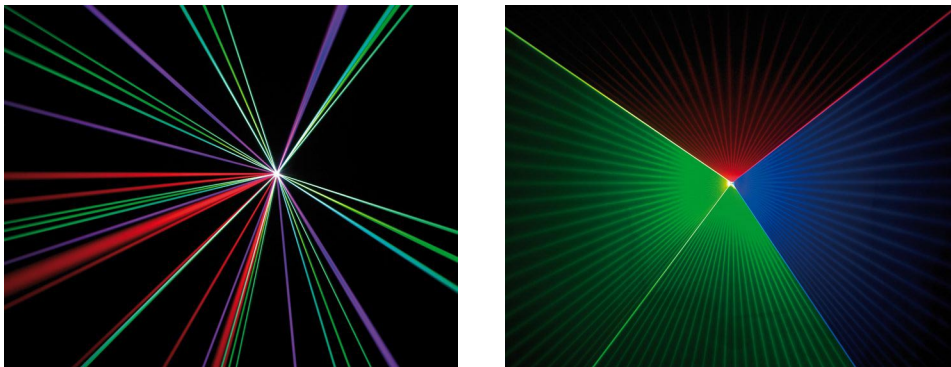
スキャナーに CT-6800 を採用し 40000pps という高速かつ正確なスキャニングによって滑らかで高度なグラフィックスを実現することが可能です。ビーム<3.5mm>の細さによってこれらのグラフィックスの可能性は高まり、イメージを選択する場合や遠距離投影をする場合により柔軟な対応が可能です。

内蔵のフラッシュカードにイメージやグラフィックスをダウンロード又はアップグレードするには USB 2.0 PC インターフェースを通して容易に行うことができます。更に USB 接続を使用してプログラミング、編集、閲覧をリアルタイムで行う事もできます。マーチンレーザーのソフトウェアは標準装備ですが、「www.martin.com」からダウンロードすることも可能です。

RGBL 1.6 は特にレンタル、大きなクラブや建築物等において非常に大きな潜在的需要があります。レーザーの使用率が最近急上昇し、今年はかつてないほどにツアーで使用されています。市場の関心の高さは最近の業界誌に掲載される記事の多さにも現れています。

従ってマーチンはその信頼性、出力性能、パフォーマンスそして簡単操作の原理をレーザーの市場に適用できれば、と考えました。

当製品はクラス4レーザー製品に該当するので公共の場所で操作をするためには安全管理責任者の資格が必要です。レーザー使用の安全規格は各国により異なりますので、詳細に関してはユーザーマニュアルでご確認下さい。



「Martin RGB Laser 1.6 W」のセールスポイント

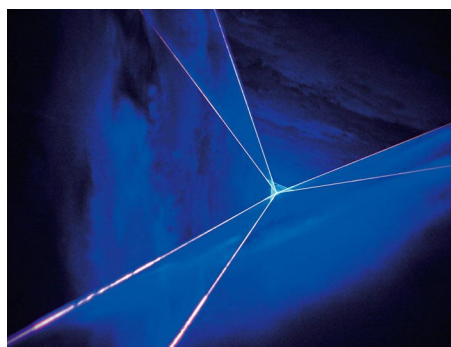
- メンテナンスフリー
- タフなボディ（ツーリングの激しさによる光軸のずれがない）
- バランスクールホワイト・ホワイトライトレーザー
- Martin レーザーソフトウェア付属
- オンボードショーの再生（最大 432 キュー）
- リアルタイムエフェクトのプログラミング、編集&ビューイング
- DMX 信号による制御可
- ILDA 対応コントローラによる制御可
- 他社レーザー製品に比べ、ダイオード寿命が長い

「Martin RGB Laser 1.6 W」の主な特徴

- ダイオード寿命： 10000 時間（出力 80%の場合）
- プリインストールライブラリー（288 キュー）
- USB 2.0 PC インターフェイス
- ILDA D-Sub 入力
- DMX 入力
- 電圧自動切替パワーサプライ
- 完全密閉光源（ダストフリー）
- コンパクトデザイン
- 軽量 11.2kg
- ガルバノメータ光学スキャナー： ケンブリッジ テクノロジー CT6800

「Martin RGB Laser 1.6 W」を使用できる場所

- 各種設備
- レンタルハウス
- コマーシャル
- 大規模クラブ
- 公共施設



商品に含まれるもの

- マーティン・レーザー・ショー・ソフトウェア、デフォルトキューライブラリー、ファームウェア(バックアップ複製)の CD
- キースイッチ用、セキュリティ・キー 2つ
- インターロック・コネクタ(AMP)
- 調節可能 U ブラケット
- USB ケーブル
- 電源ケーブル(3本)
- ユーザーマニュアル

製品番号

90432000 Martin RGB Laser 1.6 W (in cardboard box)

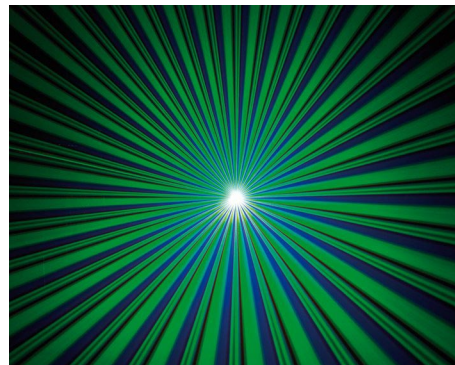
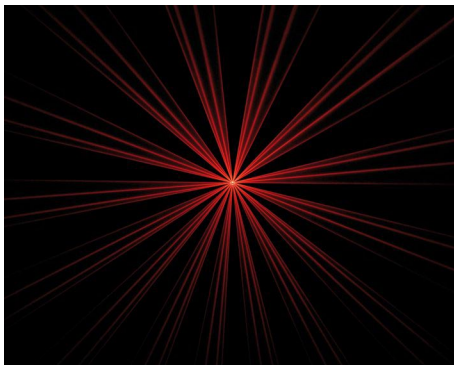
90432001 Martin RGB Laser 1.6 W (in flight case)

出荷詳細

箱のサイズ(LxWxH) : 600x400x400 mm

総重量(カードボード) : 15.5 kg

総重量(フライトケース) : 20.0 kg



よくある質問

Q: なぜ Martin がレーザー製品を？

A: 最近レーザーの人気また上がってきています。これはプレスに関心にも現れています。

Q: クラス 4 レーザ製品とは？

A: 出力 500mW 以上のレーザー製品はクラス 4 レーザーと呼ばれます。これは最高クラスレーザー製品です。そのため、出力ビームを直視すると失明する恐れがある他、肌に焼けど負ったり、物が燃えることもあります。

Q: 安全管理者になるにはどうすればいい？

A: 取扱説明書の「レーザーセーフティー」項目をご参照ください。

Q: レーザーを使用中に事故が起きた場合は誰に責任があるのでしょうか？

A: 常にレーザーを使用している人に責任が問われます。

Q: 本製品の点検及び修理をするために、特別なトレーニングは必要ですか？

A: 点検及び修理を要求されることはありません。光学機器のコーティングを破壊する恐れがあり、その場合修復不可能になりますので絶対に製品は開けないで下さい。

Q: レーザーは危険ではないのでしょうか？

A: 安全規格を遵守し、単一高濃度ビームへの露出を回避すれば、高電圧スポットライトを取り扱うより若干危険性は低くなるでしょう。最も危険なのは、たった1、2ワットであるというイメージがあるということです。実際にはとても小さな点に集中しており、偏光レーザーライトは容易に目と焦点が合いやすい性質を持っています。従って同じ電力を使用する普通の光線よりも目に受ける電力の密度は高くなります。